

## 日本金属学会 2018 年春期講演大会 参加報告

博士課程 2 年 武末翔吾

私は 2018 年 3 月 19 日～21 日に千葉工業大学の新習志野キャンパスで開催された日本金属学会 2018 年春期講演大会に参加，発表致しました．今回の講演大会では，オーラルセッションで 500 件以上の，またポスターセッションで 100 件以上の発表が行われました．

日本金属学会での発表は私にとって 1 年ぶり 3 回目となりました．今回は初日の 3 月 19 日に、「表面処理・表面改質・コーティング」のセッションで「微粒子ピーニングを援用したチタン合金のガスブローIH 窒化処理の低温化」という題目で発表しました．このセッションでは 7 件の講演が行われました．

発表中は 30 人ほどの聴講者の方がいらっしゃいました．国内の学会発表は約 10 カ月ぶりで久しぶりとなりましたが，学部生のときから数えるとこれが 10 回目の国内学会での発表となり，これまでの経験を活かしてしっかり発表できたと思います．また，今回はこれまでの金属学会の講演大会よりも企業の方が多く聴講に来られた印象があり，学術的，工業的どちらの観点からもご質問いただき，大変有意義な発表となりました．

最後になりましたが，今回このような機会を与えていただき，また発表練習等にお付き合いいただいた小茂鳥先生に深く御礼申し上げます．また，今回の発表で連名者となっただき，日頃より研究についてご指導いただいている高周波熱錬株式会社の三阪様，広島大学の曙先生，静岡大学の菊池先生に感謝申し上げます．



会場となった千葉工業大学 新習志野キャンパス